

本も読む楽しさも!!

本校の蔵書数は、5万冊余(昭和55年3月現在)になりました。人文・社会科学、自然科学、工学など多分野にわたって、16年間集書した結果です。これらの図書を活発に利用してもらうための一助として、学生の読書感想文、図書の内容紹介、読書の勧め、新着図書速報を掲載しました。

佐藤校長執筆の「広島」、また「きけわだつみのこえ」、「はるかなる山河に」などから、郷土を知り、平和の尊さを味わってほしいし、「論語物語」から孔子の愛情を、「高瀬舟」から人が人の生死を決定する時のバのあり方、「住宅貧乏物語」から住まいの大切さなどを考えてほしい。

いずれにしても、これらの本は、人間としての生き方に大きな示唆を与えてくれるものです。図書室の本を利用し、楽しんでください。

『すべて良き書物を読むことは、過去の最もすぐれた人々と会話をかわすようなものである。』
(デカルト)

「高瀬舟」も読んで

3M 和田好正

この作品は、今日のニュースで取り上げられる機会の多い「安楽死」という事を大きな問題として含んでいる。それだけに、物語を読んだ後で考えさせられたことは少々ではない。

喜助は、なおりそうもない病気を苦にしてのどにかミソリをたてて自殺を図った弟が、死にきれなくて苦しんでいるのを見ていらぬがにとうとうそれを抜いてやった。そして、弟は死んだ。その罪に問われて今、彼は高瀬川を行く高瀬舟の上にいるのである。

人を死なせてやれば、すなわち殺すということになる。どんな場合にも人を殺してはいけない。しかし、世の中というものは、時々秩序や道徳というものだけではどうしても割りきれないことがあるように思える。

喜助の犯した事などはその典型的なものであるといえよう。ゆえに、彼の犯したものが罪であるか否かということは、ぼくにはどうして判断のしようがないことであろう。「左兵衛はお奉行様の判断を、そのまま自分の判断にしようと思ったのである。」とあるが、このことについては、お奉行様であろうが何であろうが、はっきりした判断を心の中だけで出すことは無理なように思えた。左兵衛も、本心はそう思っていたのではないだろうか。

人が苦しんでいるのを見れば助けてやるというのは、通常の道徳であり、全く悪いことではない。だが、この「安楽死」という場合に限っては、これが必ずしもあてはまるわけではない。なぜならば、誰かを「安楽死」させることによって、

させた人は喜助のように、殺人の罪に問われることも逃れることはできないし、第一に、人を殺すというときには変わりないのだから。よって、「安楽死」させてやろうと思えば、させる人は相手のために殺人罪をも恐れぬ勇気と同時に、相手に対するたいへん大きな愛情を持っていなければそんなことはできないだろう。喜助は弟に対してそれがあつたのだ。

ぼくは、物語を読み終わって、もし、自分自身も喜助と同じ立場にたたされたなら、彼と同じ行動を十分にとりうるような気がした。ただ、実際にはそうするかどうかはわからない。気がしたばかりかもしれない。いずれにしても、「苦しませておくか」・「殺すか」二つに一つも選ばなくてはならないのだから、選ぶものにとっても残酷なことだ。このような事態が、ぼくの一生になりことを祈るばかりである。

この作品の著者である「森鷗外」は本来医者であったのだから、「安楽死」についてたいへん興味をもっていたに違いない。そしてこの作

品でその是非を問うよりも、人が人の生死を決定する時の、バのあり方のようなものを表わしたかったのではないだろうか。



「住宅貧乏物語」を読んで

5A 銅釜正剛

僕は、最初この書名を見て住宅貧乏とはどういうことなのか、はっきり言ってピンとこなかった。しかし、本を開いて「はしかき」のところを読んでみてなるほどと納得した。

つまり空には超高層ビルがそびえ、地上には新幹線が走っている現代文明において、国民の住生活はあまりにも貧しく、家が狭くて環境が悪いために遊びを知らない子供たち、住む場所を探しあぐねている老人、マイホームづくりに疲れはてての一家心中の頻発など住居の貧しさは、現代の日本人と世相に深い影を落とし

ているのである。そして本文の中の諸問題を読んでみると恐しくなるほどだった。たとえば、住居が狭いため寝ていた幼児の上にテレビが落ちて幼児が死んだり、狭い家では絶えず緊張感がありストレスが生じやすく、心身の緊張が酸素の吸収を悪くし、その結果胎児にまわる酸素の減少、つまり胎内での酸素欠現象が生じ、未熟児や身障児が生まれ、流産や死産が多いと書かれてあった。

僕は、来年から働くことになるが、長時間通勤のことが書かれてあった。都心の環境悪化、高地価、高家賃は、人々を郊外へ追いやり、満員電車による遠距離・長時間通勤をしいる。その通勤疲労が労働災害と結びついてくる。その他に密集住宅による居住環境の悪化もあるし、高い家賃や住宅価格によって苦しくなる家計も深刻な問題である。

いろいろな住宅貧乏の印象に残った諸問題をあげてみたが、この本を読んで最も印象に残ったのは、住生活の貧困は長い生活の間に人間の身体はあるか、精神や意識、人間形

成りまで深い影響を与えるということである。ジョン・ステュアート・ミルという人は「人間が大きな気宇をやしなうのに、その住まいの大らかさ自由さくらい大きな力をあよばすものはない」と言っている。ロバート・オーエンは「人間は環境の産物であり、劣悪な環境からは劣悪な性格が、良好な環境からは良好な性格が形成される。人間の性格の正しい形成のためには、人間を良好な環境のもとにおかぬべからぬ」と言う。

これをみて僕は、住まいの大切さを再認識した。その反面、人間らしい生活ができず、人間の尊厳を傷つける住居に住まわせられているという現実も認識した。この矛盾をなくするには新しい住宅政策と都市計画の再構築を行なわなければならぬと思う。



読書の勧め

学校長 佐藤重夫

一部の学生を除き、高専生の図書館や読書の利用は決して充分ではないように思う。その原因や対策の考究、学生の読書離れに対する善導等については委員会でも今後、そう取扱われると思うが、その本意には学生の勉学意欲というニーズの把握が盛り上げらねばなるぬことがある。それは勉学態度そのもののことである。中学まできっちり足取り教えられることになり、通学費は薄くバシアンコにして、本もノートも机下に置き放しということに陥っていたのではどうにもならない。否、それどころか、幼児自体で身近のものをも自ら玩具に工夫するような家庭。躰はもちろん、体認、工夫、手作り、観察、考察ということを頭に置いた幼児期の躰が一切行われない高価なだけの玩具で大きくなり、鈴やチェーンガムの勝手な翼い喰い、立喰いに放置された甘やかしの中で育てられていては、物の値打ちも解らないのは当然であろう。従って教えられるこ

とのみ付け焼き刃で今まで過ぎて来て
いるから、目的や目標が立たず、
それゆえ読書の欲も出ないのだと思
う。 こういったことが原因の一つ
でもあるが、高専に入っても学生
の勉学目標(註)がどのように本人に
掘吐れているかが読書欲に直接に結
ばれることであって、いささか心細
い。また平和、平等、尾主的という
大切なことでも建てりだけの表面的
教育では人間性を損ずることもあっ
て、進歩的人格としての欲求は学問
上に起きて来ないから、こういった
ことを補完しつつ誘めねばならぬ
こともある。人間、否世界は全て
何らかの競い合いの状態の中にあっ
て、古今東西、未来永劫そうであっ
て、平和的競走の調和の上に全てが
動いている。学問の進歩もまた同様
である。われわれ教官も社会の厳し
い環視のチェックの下で競い合う切
磋琢磨の研究努力の上で教育に携わ
るのが勤めであり、学生もまた同様
に競い合える勉学が必要なのである。

こういった事の為には先ず体育、
徳育をもって人格を形成し、自信と

確信とをもって自ら、それぞれの専
門の技術者になる道を堂々と歩まね
ばならない。自らを柵に上げて他を
攻め、また責めてはいけない。人が
やるからそれに倣って勉強するの
てはいけない。図書館の利用もその原
動力は学生自身にあることを確固と
して持ち、読書に励み精進してもら
いたいものである。そうして読んだ
ら必ずメモをとり、また後日にそ
れを読みかえし、心の糧としてゆけ
ば、何時の日にか、それらを基に考
えられるようになる。文筆というも
のは、その時にはさほどに思わなく
ても歳月がたち、自らも成長して、
多くの経験を積み重ねるほどに、反
省と精進の具に文筆のメモがなっ
てゆく。それが自分の文筆なのである。

この文筆を作ることをぜひとも学
生諸君にすすめたい。それはまた図
書利用の動力源に直接になること
でもある。

(註) 高専の教育目標は体育、徳
育、知育の調和的展開を重視して中
学卒業者に5年同一貫の組織のもと
で基本的高度の技術教育と一般教養

とを実学を重んじて行く、世界的視野の下での日本の工学技術者として広く工業界に於けるそれぞれの専門の要ともなる重要な技術者を目標して社会に貢献できる人を育成する高等教育である。(p55・11・13.)



学生にとって親しみのもてる図書室に

図書主任 高城博昭

誰も読書の必要性を否定しないが、読書の習慣を身につけていない人は多い。学生にとって読みたい本が図書室にあれば、読書の習慣を身につけるための良い方法として、図書室の図書利用もよい。

そこで、現在図書室には多分野にわたって読みごたえのある図書が備えつけてあり、これらを利用すべきであるが、比較的気楽に読めるベストセラーといわれるようなものも購入することにした。例えば、司馬

遼太郎の「項羽と劉邦」、J・クラベルの「将聖」、NHK取材班による「シルクロード」、小室直樹の「ソビエト帝国の崩壊」等々、いずれも読んでみたいと思わせる興味深い本であり、祥伝社の「日本の技術力」は今話題のマイコンなど、なぜ最先端・電子産業でも日本が強いのかを述べた話題の必読書です。

また、郷土関係のものとして中野米吉の「呉及びその近郊の史実と伝説」・「音戸瀬戸の開削の謎」など、原水爆(平和)関係のものとして長田新の「原爆の子」(日本語版・英語版)など、今話題の興味深い本です。

今年度から、ベストセラー、郷土関係、原水爆(平和)関係の本も計画的に集書しますので、身近かなものとして利用し楽しんで下さい。もちろん、読みごたえのある古典名著、専門書などの集書が中心であり、これらの利用を希望する。後記の新着図書速報にありますように、佐藤校長執筆の「玄島」、「呉市史」、「大呉市史」、岩波の「玄島・長崎の原爆災害」など学術的価値を有するも

のも購入しています。

おわりに、高等学生は、何を読むべきかについては、別の機会に述べることにするが、一方法として岩波文庫の100冊の本、新潮文庫の150冊の本などがあげられる。17年目を迎えた本校の図書室は、高等図書室としての基本的ありかたの上に、一つの転機として以上のようなものを進め、学生にとって親しみのもてる図書室にしたいと願っている。重ねて諸君の活発な図書室利用を希望する。



きけわだつみのこえ

(東大新書)

はるかなる山河に

(東大新書)

土木工学科 丸上晴朗

この二冊の本はどちらも同じ種類の内容のもので、オニ次世界大戦中日本の学生は学業の途中で戦場へ向かわせられました。そして多くの学生が戦死させられてしまいました。

この本は悲しくも戦死させられた学生諸兄の日記や手紙などをまとめてこれぞ此一冊の本にしたものです。

この本を読まなくても戦争の害悪は理屈の上でよくわかることでしょう。しかし単に理屈の上でわかったというよりは、わかっているようで実は理解の不十分なことが多いものです。

この本を読んで今まで気付いていなかったことを新しく見付出してほしいものです。この発見は皆さんの現在及び将来の生活にきっと好影響を与えるものと思われま

す。

同時にこれら多くの戦没学生諸兄の物心両面での重圧に満ちた日々を決して忘れないようにしたいものです。



論語物語

(角川文庫)

一般科目 榎本紘二

青春時代に読んで本は心に強く残るし、私達の人生にきっと役立ってくれるものである。今から読書を始めようとする人のために、下村湖人の『論語物語』(角川文庫)を推薦する。彼は『次郎物語』の著者としても有名である。この物語は、著者が『論語』の本文

を讀み進んで行く中で、感服した個所を拾いとり、それをも一つの小さな物語に仕立てて書いた作品である。『論語』そのものから見出される孔子像は、何か近寄り難い人生を究めた達道者の如く思われるが、この作品中の孔子は、酒を飲み、喜び哀しむ感情を持った、私達と少しも変わらない親しみの持つ人間として生き生きと描かれている。『論語物語』を通して、改めて孔子の魅力に引き込まれるのである。

孔子の弟子伯牛は重い病氣にかかった。それからというものがつての友人は誰一人として近づくものもなくなって来た。みんなが寄り付かないのは、自分の病氣を恐ろしがるからだ。孔子だって本音を洗ってみたらどんなものか知れたものではない。現に、先生は一ヶ月も顔を見せないではないか、と伯牛の心の中にはひねた考えが浮んで来るのであった。そんな時に孔子がやって来た。伯牛は、醜い自分の顔を見られたくな

く、ふとんを被ったまきでいた。
 孔子は、静かにふとんの中に手を
 やり、伯牛の手をしっかりと握り
 しめと言ったのであった。-----
 以上は作品中の一物語の個所だ
 ある。孔子の愛情の深さ、やさし
 さに胸を打たれた感激は、十八年
 前に読んだ私の心の中にもはつき
 りと残っている。



ご寄贈ありがとうございました
 本校建築学科卒業川内美
 彦氏から下記の図書を送贈して
 いただきました。ご利用ください。

日本建築学会編 (丸善)
 「建築学便覧」1. 計画版
 2. 構造版

青木繁など編 (彰国社)
 「建築大辞典」

日本建築学会編 (建築産業調査会)
 「実務家のための
 最新建築構造ハンドブック」

編集後記

図書だよりオズ報に協力いただいた
 学生諸君、校長ほか教官方にお礼を申
 しあげます。

手書きという制約から、多数寄稿さ
 れた感想文、図書紹介等の一部を次報
 に廻さざるを得ないほどの喜ばしい状
 況です。これからもよろしくご協力下
 さい。とくに学生諸君の感想文、図書
 紹介を期待しています。学生会文化部
 の方でも考えて下さい。

学生諸君にもっと図書室を利用して
 欲しい、本を読んでもらいたいとの意
 向で刊行された図書だよりもオズ報の
 発行に際し、図書委員会から編集長高
 城、編集委員兼本・岡本・図書係長が
 選ばれ、今後の発行の任に当ること
 になりました。来年度からは図書だより
 に予算がつけられるのではとの嬉しい
 情報もあり、編集委員一同ファイトを
 燃やしております。よろしく!!

なお、手書・印刷・製本は、小山、
 守道両社に協力いただきました。
 ありがとうございます!!

(兼本記)

新着図書速報

図書係

0 総記 (情報科学、コンピュータ・ソフトウェア、百科事典等)

現代日本執筆著大事典 6

佃 実夫(等)

日外アリ江一ツ

世界大百科年鑑 (1980)

平凡社

ブリタニカ国際年鑑 (1980)

ブリタニカ

田中正造全集 5、19、別巻

田中正造

岩波

情報処理入門講座 1

コロナ社

情報処理システム

清宮 博

電子通信学公

マイコン基礎講座

小黒正樹

廣済堂

マイコン・ゲーム徹底研究

工学社

マイコン操縦法入門

平沢 進

ラジオ技術社

エス0ファミリーテックニカルマニュアル

SHARP

図解マイコンの基礎知識

久田光治

オーム社

1 哲学 (心理学、倫理学、宗教等)

世界宗教史叢書 4

山川出版社

アリストテレス フォー エブリボディー

アドテ・モテマ・J.

日本ブリタニカ

プラトン 1

田中英和太郎

岩波書店

2 歴史 (伝記、地理等)

カリウヰン自伝

カリハツルストH.

鹿島出版会

日本城郭大系

新人物往来社

1. 北海道・沖縄編

2. 青森・岩手・秋田編

10. 三車・奈良・和歌山編

11. 京都・滋賀・福井編

14. 鳥取・島根・山口編

明治文化史

原書房

1. 概説

藤井甚太郎

4. 思想言論

高坂正顕

7. 文芸

岡崎美典

広島県史 原始・古代、近代1

広島県

図説 日本文化の歴史

小澤 館

7. 安土桃山

8. 江戸(上)

9. 江戸(中)

大
申
さ
報
び
下
書
部
て
意
の
高
が
レ
リ
い
も

新井白石、關白の肖像	入江隆則	新潮社
角川日本地名大辞典		角川書店
11. 埼玉県		
21. 岐阜県		
世界現代史		山川出版社
28. 北欧現代史	百瀬 宏	
29. ソ連現代史 1.	倉持俊一	
国史大辞典 2.		吉川弘文館
日本地誌 1. 日本総論		二宮書店
明治大正図誌 8. 中央道		筑摩書房
岩波講座 日本歴史		岩波書店
1. 原始および古代(1)		
2. 古代(2)		
3. 古代(3)		
4. 古代(4)		
5. 中世(1)		
6. 中世(2)		
9. 近世(1)		
10. 近世(2)		
世界地理 13. 南極・海洋		朝倉書店
呉市史 3. 2		呉市役所
日本文化 9. 日本の宮都	村井康彦	角川書店
3 社会科学(政治、法律、経済、社会、教育、民俗学等)		
世界の民族 20. 人類の未来・総索引		平凡社
住宅政策研究 1.	下山瑛二(等)	ドクス出版
講座 日本の民族 2.		有精堂
マツダの挑戦	藤岡 詢	英和出版
新しい街づくりの計画手法に関する研究		河中出版
4 自然科学(数学、物理、化学、天文学、地学、生物学、医学等)		
初等情報処理講座 2.		森北出版
ノーベル賞講演 物理学 11. 12.		講談社
原子構造とスペクトル 続 1 下	ソズニルホルツ	
オックスフォード 物理学シリーズ 15.		丸 香
数学から物理学へ	竹内本史	日本評論社

現代数学の一般論
 野の島の上巻
 応用ベクトル解析
 演習-工料の数学 5
 地質工学の基礎
 図学概説 改訂版
 図学と製図 新版

志賀重昂
 仁部憲之助
 若川七郎
 伊藤芳朗
 福永節夫
 新田 彰

岩波書店
 大倉書店
 朝倉書店
 培風館
 集文社
 培風館

5 工学(土木、建築、機械、電気、造船、冶金・金属、化学工業等)

新体系土木工学

技 報 堂

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. 弾性体の力学 | 坂山成興 |
| 2. 構造物の非弾性解析 | 太田俊昭 |
| 10. 構造物の振動解析 | 若山・宮田・国井 |
| 22. 密度流の氷理 | 玉井信行 |
| 28. コンクリート材料 | 長滝・野田・関 |
| 30. 特殊コンクリート | 小林一穂 |
| 33. 鉄筋コンクリート構造物の設計と施工 | 野村田・津山・秋元 |
| 43. 橋梁上部構造(Ⅲ) - コンクリート橋 - | 西山啓伸 |
| 44. 基礎工(I) - 構造物の基礎 - | 大橋・矢作 |
| 46. 基礎工(Ⅱ) - 特殊工法 - | 上田・川村 |
| 51. 土質測量 | 村井俊治 |
| 52. 土木計画のシステム分析 | 吉川和夫 |
| 53. 地域計画(I) - 計画の分析 - | 山村悦夫 |
| 62. 道路(Ⅱ) - 計画と幾何設計 - | 鈴木道雄 |
| 63. 道路(Ⅲ) - 構造 - | 三谷 浩 |
| 66. 鉄道(Ⅰ) - 建設、停車場、新幹線 - | 岡田 宏 |
| 67. 鉄道(Ⅱ) - 線路、防災、電気設備 - | 伊能忠敏 |
| 70. トンネル(Ⅰ) - 山岳トンネル - | 天野・長友 |
| 75. ダムの設計 | 飯田隆一 |
| 82. 港湾施設の設計 | 松並仁茂 |
| 83. 港湾施設の施工 | 浦江恭知 |
| 84. 海洋施設の設計と施工 | 北島昭一 |
| 87. 環境保全(Ⅱ) - 環境の制御・管理 - | 末石國太郎 |
| 95. 上水道 | 丹保康仁 |
| 97. 廃棄物処理 | 平岡正勝 |
| 99. 契約・積算 | 田村・安田 |

都市

空地の思想

建築的空間の原始的構造

S.D.選書

158. 建築について (上)

159. " (F)

160. 建築形態のダイナミクス(上)

161. " (F)

162. 見えおくれする都市

163. 街の黒線

164. 環境計画論

無窓

熱伝達特論

利用湿度測定

木造住宅の詳細図集

白井晟一の建築と人へ通じるものへ

美術・建築・デザインの研究 1. 2

建築計画

江戸時代の大工たち

省エネルギー住宅の考えかた

わかりやすい住まいの法律

日本建築 図説論

スペイン建築史へ建築各国史へ

総て見る建築様式史

フランス建築事情

あなたが主人公、公共建築のカルテ

建築学便覧 1. 2

日本近代建築史

画像通信

PCM通信システム

コンピュータ、サイエンス・シリーズ

通信システムと伝送方式

マイクロコンピュータシリーズ

11. 2-80 マイクロコンピュータ

マイクロコンピュータ活用演習

マルチメディア

大谷幸夫

増田友也

F.L.ライト

"

R.アレンハム

植文秀

法ラドバク

田村 明

白井晟一

内田秀雄(等)

清水正治

中国清兵衛

水原徳吉

ペグステニョウス

前田尚美(等)

西 和夫

真鍋祖円

山田 修

向井正也

丹下徹明

乃叔子木バト

三宅理一

北日本新聞社編集局(編)

日本建築学会編

"

電子画像学会編

川島将男

データ伝送システム

高橋英明

中山幸志他

岩波書店

北斗出版

京都ナカニヤ

鹿島出版会

筑摩書房

栄一書房

省工社センター

理工図書

相模書房

鹿島出版会

朝倉書店

京都学芸出版社

相模書房

"

"

"

鹿島出版会

"

勁草書房

文 善

技 報 堂

電子通信学会

"

産業図書

電気通信協会

丸 啓

工 芸 図 書

大阪経済大学、24、振動理論

定常環境の計画

日本の塩化ビニール産業

デザインの鍵

木造住宅

土木工学大系

27. ケーススタディ エネルギー開発

28. ケーススタディ 環境衛生

31. ケーススタディ 土地開発

33. ケーススタディ ダム

25. ケーススタディ 海上システム

精密工学講座 9. 機械振動学

標準機械工学講座

6. 材料力学

16. 改訂 内燃機関

NC工作機械 改訂版

機械加工のびり現象

精密工作法 上・下

超硬工具

航空宇宙工学概論 再訂版

飛行の理論

飛行機の本

幕末明治製鉄史

鉄のメルヘン

ゆき技術

金属表面工業全書

11. 金属ライニング技術

内燃機関工学

最新機械シリーズ

9. 蒸気原動機

18. 内燃機関

内燃機関工学

内燃機関原簿

新編機械工学講座 26. 機械図

機械設計の基礎

大島陽

リチケリ

池田 陽

堀尾建設社

彰 国 社

鹿島出版会

日本ビニール工業会

丸 善

大阪創元社

彰 国 社

丸藤 文井

奥村敦史

渡辺 一郎

山岸正謙(編)

望 鉄太郎

田中義信(等)

吉田邦彦

三木鉄夫(編)

比良二郎

天野 宏一

大橋 剛治

中 天護人

加瀬 敬年(等)

伊佐 良枝

栗野 誠一

八田 桂三他

古瀬 庄一

小茂 島和生他

大谷 寿達

小野 敬郎(等)

コ ロ ナ 社

日 刊 工 業

工 業 調 査 会

共 立 出 版

日 刊 工 具

森 北 出 版

広 川 書 店

技 報 堂

ア ヲ グ ネ

日 刊 工 業

横 書 店

山 海 堂

森 北 出 版

東 教 出 版

丸 善

コ ロ ナ 社

日 新 出 版

経済の地理と学、新築

大学建築設計工学

すべり耐震と潤滑

建築設計資料集 3、単位空間 I

標準機械工学別題講座シリーズ 2、

新しい機械工学 2、

計量管理技術双書

1、改訂 流量

20、表面丁ラサ

21、単位

28、粒度

38、計量に関する基礎知識 (上)

39、" (中)

40、" (下)

日本の建築 (明治大正昭和) 5

世界現代建築写真シリーズ 16、体育施設

建築大辞典

実務家のための最新建築構造ハンドブック

住宅建築設計の集 5、住宅とトップライト・100選

破壊力学と材料強度講座

1、線形破壊力学入門

土木工学事典

建築技術双書

17、基礎と地盤の守ほどき

18、住宅とインテリア

19、ショッピングセンターの計画

20、タイルの話

S1の使い方

構造力学入門 1~3

有名建築その後

PROBLEMS OF DESIGN

歯車

よくわかる作業法

ろうの選び方

金属工ツチンギ技術

松本俊幸

内田尚雄

真 三吉

日本建築家(編)

松代正三

山本健太郎

小泉英敏勝

川口昌村

松原 晋

"

"

岡村茂文

又保慶三郎(等)

中堀和英

福岡喜久雄

西脇顕正

田中 弘

竹中俊夫

高橋武雄

日層アキヲ

GEORGE NELSON

金井美臣

ギョウ・パオ

幸 彦 幸

愛 野 彦

吉 彦 彦

久 彦 彦

コロナ社

森北出版

コロナ社

三省堂

集文社

彩園社

建設産業調査会

建築資料研究社

培風館

朝倉書店

学芸出版社

オーム社

培風館

日経エレクトロニクス社

WHITNEY

シャノンシステム社

新機械工学文庫

産報出版

アグネ

岡本孝幸 著

マピーカーシステム自作

図解・ラジオの天才

電験三種計算テキスト

電気理論

電気機械

火力発電(原子力発電)

電気エネルギー管理士試験問題解答700題

” 試験問題の研究

” 概論

電子おもちゃの作りかた

ラジオ工作入門

マイクロコンピュータ CRTディスプレイ技法

コンピュータ画像処理

スイッチングレギュレータ

トランジスタ DA・AD変換器

だれにも作れるSCRホビーマニュアル

初めて無線従事者試験を受ける人のために

マイコンゲーム2/

電気工事士教科書 改訂版

アンプ製作のノウハウ

はじめてトランジスタアンプを作る本

電気工事士新方式技能試験マスター4時間

エレクトロニクス製作 5の選

シンセサイザーと電子楽器のすべて

RCM/デジタル・オーディオのすべて

無線従事者、国家試験問題解答集

” ノン線無線技術士

” 中級 ”

図解・アマチュアの工作技術

電子工学教室

送電の電子工学

水形VTR

土のはなし 1〜3

コミュニティの計画技法

越田洋

飯島 敏

巻永清一

新電気(編)

浅香・小林

楳井・森田

明鏡泰平

黒岩文雄

鈴木八十二

中野隆・中野隆

嶋村弘明

今井 聖

小津厚二郎

岩田英一

窪田登司

奥沢清吉

和田正徳

中原 紀

原・高橋

森村道美

日刊工業

日本放送出版協会

誠文堂新光社

オーム社

東京電機大学出版局

オーム社

新星出版社

産報出版

オーム社

産報出版

日本電気協会

日本放送出版協会

誠文堂新光社

電気書院

誠文堂新光社

電波振興会

CQ出版

電気書院

工業調査会

日本放送出版協会

技報堂出版

勤 画 社

測量士試験要点对訳	原口 昇	税務経理協会
測量実習	金堀 武	山 酒 堂
だれにもわかる写真測量	西尾元亮	オーム社
土地家屋調査士試験のための測量問題の研究	兼村 博	〃
〃	〃	〃
測量士補予備問題集	〃	〃
測量士補予備問題集	〃	〃
土壌・基礎工学へのコンピュータ利用入門	〃	土質工学会
コンクリート標準示方書解説 昭和55年版	〃	土木学会
技術者の夢	ウイリアム	森北出版
6 産業 (農業、園芸、林業、水産業、商業、交通 等)		
TV A-総合開発の歴史的实验~	川江シムルDE	岩波書店
現代空階の設計	鈴木昌道	誠文堂新光社
7 芸術 (彫刻、絵画、写真、工芸、音楽、演劇、体育 等)		
世界の巨匠シリーズ カンディンスキー	〃	美術出版社
〃	ベラスケス	〃
〃	ジョーレル・マリズム	〃
〃	ドイツ・ロマン派	〃
新修日本絵巻物全集	〃	角川書店
29. 地藏菩薩聖蹟絵巻、他	〃	〃
30. 直幹申文絵巻 他	〃	〃
日本古寺美術全集	〃	集英社
5. 興福寺と元興寺	〃	〃
10. 延暦寺・園城寺と西教寺	〃	〃
12. 教王護国寺と広隆寺	〃	〃
8 語学		
構造主義と記号論	ホクス、フレシ	紀伊国屋
9 文学		
しくこの日本文化	夕田道太郎	〃
ルー・ガロX著作集 1~5. 別巻	乃田アズガロ、ル	以文社
岩波新書		
125. コマの科学	戸田盛和	〃
126. ギリシア哲学と現代	藤沢命夫	〃
127. 北京三十五年 (上)	山本尚朝	〃

岩波新書

- 128. 北条三十五年
- 129. 千鶴は生きてゐる
- 130. 現代のプラムパン
- 131. 雲夜と愛娘
- 132. ローヌ河に舟をこ
- 133. 英語の構造(上)
- 134.
- 135.
- 136.

- 山本由朝
- 泉原 康
- 堀野英男
- 下、大生
- 笹本駿二
- 中島文雄

新潮文庫

- 雲の墓標
- 冠生門・扉
- 他人の顔
- 情みなく愛は奉う
- 華岡高洲の妻
- 白人 - 盲
- 握の砂 - 悲しき玩具
- 青春の迷途
- あいつと私
- 風に吹かれて
- 野菊の墓
- 典子の生きかた
- ブンとファン
- 永 壁
- 黒い雨
- 小説の味わい
- 酒と毒薬
- われらの時代
- 倚扇記
- 日本読の年輪
- パニック・裸の王様
- 大和吉寺風物語
- 雪 国
- 人どつき合ふ法

- 阿川風之
- 柳川龍之介
- 安部公房
- 有島武郎
- 有吉佐和子
- 夜東次男
- 石川啄木
- 石川達三
- 石坂洋次郎
- 玉木寛之
- 伊藤左次
- 伊藤 整
- 井上ひさし
- 井上 靖
- 井伏鱒二
- 白井吉見
- 志藤周作
- 大江健三郎
- 大岡昇平
- 大野 晋
- 間崎 健
- 魚井勝一郎
- 川端康成
- 河盛好成

- 検校の人びと(上)
- 、 (下)
- 武蔵野
- 現代名歌選
- 出家とその弟子
- 暗い旅
- おとうと
- 蟹工船・常生活着
- モオナルト・無常といふ事
- 地球になった男
- 永遠なる序章
- 暗夜行路(前)
- 、 (後)
- 歳と私
- 贈る言葉
- 燃えよ剣(上)
- 、 (下)
- 磯村清兼
- 破 戒
- 雄気堂々(上)
- 、 (下)
- 愈と知と悲しき
- 太郎物語 高橋編
- 悲の器

- 北 杜夫
- 、
- 国木田独步
- 久保田政雄
- 倉田白三
- 倉橋由美子
- 寺田 文
- 小林篤一
- 永井芳雄
- 小松左京
- 程名鱗三
- 志賀直哉
- 、
- 獅子文六
- 柴田 翔
- 司馬遼太郎
- 、
- 島崎藤村
- 、
- 城山三郎
- 、
- 布天也節
- 曾野綾子
- 高橋和己

高村光太郎詩集
 ニルマの琴
 人間失格
 文庫日記
 春秀抄
 田舎教師
 森と湖まつり
 冬の旅
 廻廊にて
 家族八景
 日本をかしばなし集(一)
 暹東綺譚
 こころ
 八甲田山死の彷徨
 秀吉と利休
 アリアカヒに火垂るの星
 暗い燈・崩解の鐘
 萩原朔太郎詩集
 にごりえ・たけくらべ
 極山紀考
 日本百名山
 新西洋事情
 草の花
 浮雲
 ボッコちゃん
 風立ちぬ・美しい村
 点と線
 日本語のために
 忍ぶ川
 人生論ノート
 金閣寺
 雁の寺・飛前竹人形
 段河鉄道の夜
 さぶ
 真実一歩

藤村詩集
 竹山意雄
 太宰 治
 田辺聖子
 谷崎潤一郎
 田山花袋
 武田泰享
 立原正秋
 辻 邦生
 筒井康隆
 坪田謙治
 永井荷風
 夏目漱石
 新田次郎
 野上弥生子
 野坂昭如
 野間 宏
 石川啄鳥
 樋口 葉
 芥川 龍之介
 原田久弥
 原田祐介
 尾永武彦
 二葉亭 迷
 星 新一
 堀 辰雄
 松本清張
 丸谷 才
 三浦 洋郎
 三木 清
 三島 敏夫
 水上 勉
 宮沢 賢治
 山本 龍彦
 山本 有三

伸 子
 三好達治詩集
 友 情
 室生犀星詩集
 阿部一族・舞姫
 遠野物語
 数学のためのしこ
 古典と現代文学
 冬の産
 砂の上の植物群
 花埋み
 怒のない絵本
 谷間の白倉
 嵐が丘(上)・(下)
 バイロン詩集
 奥邦人
 ティファニーで朝食を
 光黙の春
 桜の園・三人姉妹
 青い支
 罪と罰(上)・(下)
 シャロック・ホームズの冒険
 八月の光
 音楽を愛する友へ
 ボヴァリー夫人
 狭き門
 若きウェルテルの悩み
 ハイネ詩集
 老人と海
 ヘッセ詩集
 車輪の下
 チェアス先生とようなら
 人形の家
 変身
 チャタレイ夫人の恋人

宮本百合子
 河野 義典
 若原 義典
 尾永武彦集
 殊 崎 木
 柳田国男
 矢野龍太郎
 山本健吉
 吉村 昭
 吉行 敦也
 夏目 房一
 芥川 龍彦
 バルザック
 E. Zola
 バイロン
 カミュ
 カポーティ
 カーリン
 フェボフ
 コレット
 ドストエフスキ
 ドイル
 フォクナー
 フィッシャー
 フローベル
 ジョッド
 ゲーテ
 ハイネ
 ヘミングウェイ
 ヘッセ
 ヒルトン
 イブセン
 カフカ
 ロレンス

8/3 ルパン傑作集(1) レブラン
 トニオ・フレ・テル/ヴェニスに死す
 T・マン
 人間ざらひ モリエール
 O・ヘンリ短編集(一) O・ヘンリ
 Xの秘剣 クイーン
 肉体の悪魔 ラディゲ
 ランボー詩集 ランボー
 ナイン・ストーリーズ カンファー
 氷いらす サルトル
 ハムレット シュアスピア
 ネワン・デニツウイチの一日 ヴルネツク
 赤と黒(上)(下) スタンダール
 復讐(上)(下) トルストイ
 ウェルレーヌ詩集 ウェルレーヌ

海からの贈物 リバングレン
 雨・赤毛 モーム
 女の一生 モパッサン
 赤毛のアン モンゴメリ
 ソークラテスの弁明/クサトーン/
 パイドーン プラトーン
 マルテの手記 リルケ
 悲しきよこんにちは リオン
 夜間修行 サテアグロ
 古代への情熱 シューマン
 長距離走者の武性 シリト
 祭りの葡萄(上)(下) マジメフ
 みずうみ シュトルム
 父と子 ツルゲーネフ

建設白書 昭和十九年版
 経済白書
 国土利用白書
 環境白書
 和歌歌謡録
 高等教育資料目録I

建設白書
 経済企画庁編
 国土庁編
 環境庁編

大蔵省
 国立国会図書館
 高教工業高等専門学